

令和2年度弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会
議事録

日 時 令和3年2月25日(木) 午前10時から午前11時まで

場 所 弘前商工会議所会館6階特別会議室

出席者 【委員】

工藤 竜輔	弘前市商工部商工労政課	課長
丸岡 和明	弘前市商工部産業育成課	課長
海江田 毅	日本政策金融公庫弘前支店	支店長
小山内 一志	青森県信用保証協会弘前支所	支所長
古川 博志	青森県中小企業団体中央会弘前支所	所長
栗村 圭一	K-Oneコンサルティング	代表
山田 貴弘	山田貴弘中小企業診断士事務所	代表

【事務局】

木下 克也	弘前商工会議所中小企業相談所	所長
齊藤 耕成	〃	〃 経営二課 課長
三上 浩平	〃	〃 経営二課 課長補佐
八木橋 裕生	〃	〃 地域・産業振興課 主事

内 容

午前10時定刻開会。

① 令和2年度事業報告について

事務局より資料に基づき令和2年度の実施事業について説明。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、当初の計画どおり進まなかったことから、来年度への助言を中心に意見をもらった。

各委員の主な意見や助言は下記のとおり。

<丸岡委員>

- ・世田谷DAITADESICAの事業は非常に良いと感じている。今後も規模拡大を目指して欲しい。

<山田委員>

- ・最近webを活用した販路開拓等が大分進んでいる状況なので、ECサイト等での販売の仕組みづくりが必要になってきている。それに伴って情報リテラシーの向上が必須であると思う。

<栗村委員>

- ・補助金等の申請も電子化が進んでおり、電子化対応への支援が必要となっている。
- ・ECサイトを立ち上げたものの認知度が低いケースが見られるため、いかにして認知度を高めるかが重要である。
- ・世田谷DAITADESIKAの事業を活かして、ECサイトでの販売も絡めたテストマーケティングが出来るようになれば良い。
- ・来月から事業再構築補助金が申請可能になるため支援体制の強化が必要であると思う。

<海江田委員>

- ・政策金融公庫が独自に事業者アンケートを取ると、販路開拓に悩んでいる事業者が多くみられるため販路開拓に世田谷DAITADESIKAの事業は販路開拓に大きく寄与すると思う。

<小山内委員>

- ・補助金関連のセミナーを開催し人数も参加しているので需要のあるセミナーを開催できていると思う。
- ・借入の返済が厳しくなっている事業者が少なからずいるため、融資といった資金調達ではなく、各種補助金の活用が大事である。また、返済には粗利をいかにして増加させるかも大事であるため、次年度の事業に関しては、補助金活用のPRと経営支援が出来る人材の育成が必要だと思う。

<古川委員>

- ・補助金申請の電子化に伴って「G Biz ID」の取得が必要である。事業者毎にアカウントが必要なため、申請書の支援等するにあたってログインをしなければならず非常に苦労している。

<工藤委員>

- ・様々な支援策を打ち出すにあたって効果があるのか需要があるのかを検討するために地域の動向調査は必要である。

② その他について

その他、当所のマル経融資の状況等について情報共有

以上